

冬季は空気が乾燥してきます。 ～火の取り扱いに注意！～



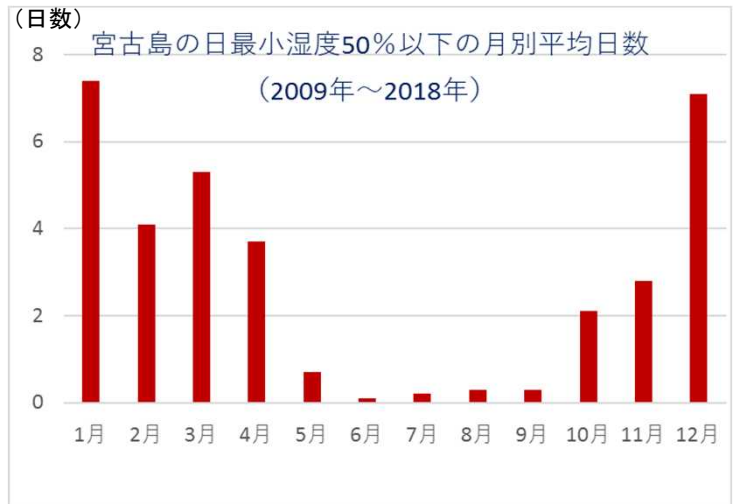
11月に入り、宮古島地方でも北風が吹く季節となりました。例年10月から翌年4月にかけては空気が乾燥し「火災の起こりやすい気象条件となる日」が多くなります。火災の危険が大きいと予想されると、気象台は**乾燥注意報**を發表します。

●乾燥注意報の發表基準（沖縄地方）

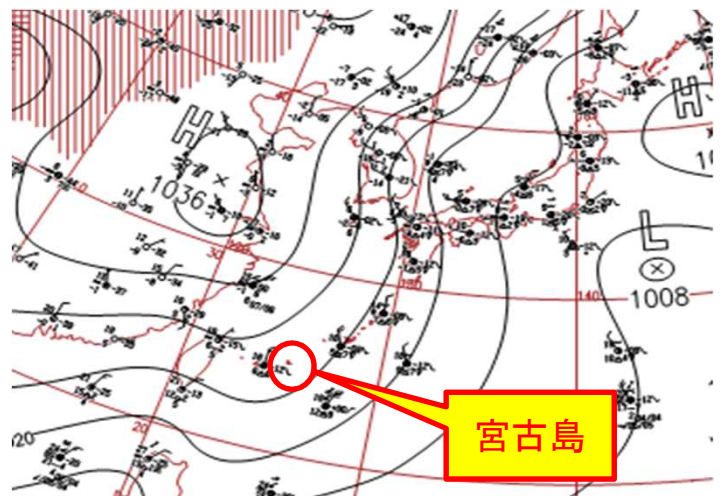
最小湿度**50%以下**で、実効湿度*が**60%以下**と予想される場合。（*実効湿度:木材の乾燥の程度を表す指標で、数日前からの湿度を考慮に入れて計算する。実効湿度が50～60%以下になると火災の危険性が高まる。）



右のグラフは、宮古島（下里）における過去10年間（2009年～2018年）の「日最小湿度50%以下の月別平均日数」です。乾燥した日は、10月から増えはじめ12月から1月がピークとなり、4月まで続きます。**火の取り扱いに注意**が必要です。



右図は、2014年1月18日15時の地上天気図です。この日は大陸の高気圧が張り出し、宮古島地方に乾燥した空気が流れ込んできました。当日の宮古島（下里）の**日最小湿度は38%**となり、**日最大風速が北の風10.2m/s**、**日最大瞬間風速が北の風16.7m/s**と「**火災の起こりやすい気象状況**」となりました。



地上天気図(2014年1月18日15時)

宮古島地方気象台

検索

宮古島地方気象台ホームページ
<http://www.jma-net.go.jp/miyako/>



お問い合わせ先: 宮古島地方気象台 TEL: 0980-72-3054(平日のみ/8:30～17:15)